

令和6年度

学校評価者アンケート
ま と め

令和6年度 学校関係者評価委員会 報告書

世田谷区立瀬田中学校 関係者評価委員会

お名前 横須賀 清美

【生徒】

1. 学習について	学習指導、どの項目とも肯定的な意見が多い。「先生は、提出物やテストを分かりやすく評価している」の項目については、9割の生徒が肯定的な回答が多い。
2. 生活指導について	全体的にも肯定的な回答をしている。2学年においては「とても思う」の回答が低く、3学年は肯定的な回答をしていて、学年が上がるにつれて意識が上がる。
3. 学校行事について	全体的に高評価を得ている。特に3学年は行事一つ一つ仲間との団結力、関係の良さがうかがえ、意欲的に取り組んだことが見て取れる。
4. キャリア教育について	キャリア・パスポートについて、まだまだ課題が多く見受けられる。特に3学年に対しては、三者面談などを活用していき、生徒の取り組みを確認する必要があるのではと考えられる。
5. 先生について	全体的に高評価を得ている。その反面、各学年「先生たちに相談しやすい」の項目に「思わない・分からない」が数パーセントの生徒が回答していることから、サポートが必要だということを留意していくべきと考える。
6. 学校全般について	ほとんどの生徒は学校生活が楽しく、達成感を感じられる場所であると回答している。今後も学び舎を通して、新しい取り組みに期待したい。
7. 部活動について	部活動に加入している生徒にとって、部活動での楽しさや達成感を得ていることは、重要な学びの場であることを示している。一方、外部指導者を活用しても先生方の負担はあまり減少していないように思われる。
8. その他	部活動に関する質問の回答選択肢に「所属していない」を追加することを区に要望するのはどうでしょうか？

【保護者】

1. 学習指導について	概ね高い評価は得ているが、家庭で学校の話をしていない限り「分からない」の回答は減少しないと思われる。学校側からも情報提供機会が必要かもしれない。
2. 生活指導について	高い評価を得ている。集団での規律や社会性スキルの学びを学校に期待しているとも推察される。

3. 学校行事について	学校行事に対しては高い評価が得られている。一方、「本校は子どもの意欲を大切にしている」の項目は否定的な意見が多くみられる。改善の必要があると考えられる。
4. キャリア教育について	「分からない」と回答している割合が相対的に多く、学校からの情報提供があまりされていないと考えられる。引き続き、情報伝達など手段について検討の必要があると思われる。
5. 教職員について	概ね高い評価が得られている。「本校は、子どもや保護者が相談しやすい」の項目は、相談できないと感じる保護者がいるように見受けられる。声掛けなどの支援が必要なのかもしれない。
6. 全般について	子どもたちが学校生活を楽しんでいると感じている保護者が多く見受けられるが、その一方で家庭学習（eラーニング）については更に高評価を伸ばしたいところではある。
7. 部活動について	生徒の評価同様、部活動に加入している生徒の保護者にとっては高評価が得られていると思われる。
8. 学校からの情報提供について	学び舎への関心、取り組みに関しては情報不足と見受けられる。その他の項目については情報提供がしっかりと伝達されているからか概ね高評価を得ている。
9. 学校運営について	概ね高い評価を得られているが、上記と関連して、引き続き学校運営や教育活動に関する情報の伝達手段については検討する必要があると思われる。
10. 家庭と学校の連携について	大半の保護者が学校公開や行事への参加が難しいと否定的な回答をしているが、学校からの情報は欲しいと思っている保護者は多いのではないだろうか。
11. 地域との連携について	ボランティア活動などで子どもたちが地域の方々とつながっていることから「協力的である」の項目は高評価を得ている、ただ情報が十分に届いていない可能性は考えられる。
12. 学校の安全性について	学校における安全教育に対しては概ね高い評価が得られるが、その情報が保護者に十分に届いていない可能性が考えられる。
13. その他	学校に対して、全体的に概ね高評価が得られていると感じる。

【地域】

1. 生活指導について	ほとんどの生徒が交通ルールを守って登下校している様子が伺える。否定的な評価がないことから、地域の方々もしっかり生徒を見守ってくれていることが見受けられる。
2. 学校行事について	学校行事に対する理解はあるように見えるが、地域への配慮には否定的な意見が多い。今後は努力する必要があると考えられる。

3. 学校からの 情報提供について	概ね高い評価を得ているが、保護者への情報提供と同様に、その手段については引き続き試行錯誤が必要かもしれない。特に「学び舎」の活動については、発信方法など見直す必要がある。
4. 学校運営について	すべての項目に否定的な意見が昨年度に比べ多くみられることから、地域の方々への説明や対応が不十分であることが見受けられる。今後はもっと明確にする必要があると思う。
5. 地域との連携 について	学校協議会や合同学校協議会の役割について、否定的な意見が多くみられる。そもそもの存在が理解を得られていない可能性がある。
6. 学校の安全性 について	高評価を得ている。「とても思う」の評価が昨年度より増加しているようなので、継続し安心・安全な学校づくりを更に目指してほしい。
7. その他	地域の理解があってこそその公立中学校だと思う。 否定的に思われている項目を少しでも良い方向に持っていけるよう努力する必要がある。

【まとめ】

瀬田中学校の教育活動は全体的に高い評価を得ており、生徒は学習や学校行事を前向きに取り組んでいる様子が伺えました。その一方で生徒が先生へ相談のしやすさに課題を感じていることが分かりました。保護者においても学校側からの情報提供を望んでいるといった傾向が見受けられたことから、より一層の情報提供の改善が必要だと考えます。

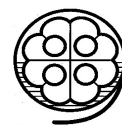
また、今回は瀬田中学校の重点項目を基準に評価項目を検討しました。委員会が提供するこの「評価」を見る人たちを想像したときに、細かいことよりも学校目標・学校像等を前提にした重点項目に関心をもつのではないかと考えます。今後は、より多くの肯定的なフィードバックを与えられる学校づくりを目指せればと思います。

令和7年3月14日

委員長 横須賀 清美 元保護者
 委員 岩崎 敬道 東京都市大学 名誉教授
 委員 寺岡 英晋 日本体育大学 助教
 委員 名川 志信 卒業生 元PTA会長
 委員 上條 直之 元保護者
 委員 三沢 里紗 在校生保護者



令和 6 年度 自己評価報告書



校長 山口 実史

地域・保護者の皆さま、お忙しい中、令和6年度学校評価 関係者等アンケート調査にご回答ありがとうございました。生徒アンケート、保護者アンケート、地域アンケートをもとに、自己評価の報告をいたします。

1 学習指導について

生徒5項目、保護者4項目において、肯定的な回答は、生徒平均88.9%（前年度91.0%）、保護者65.5%（前年度67.3%）であった。生徒は、「先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。」「授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。」の質問で、肯定的な回答が90%以上であった。授業に対する工夫や改善が図られていると考えられる。

2 生活指導について

生徒3項目、保護者2項目、地域1項目において、肯定的な回答は、生徒平均88.1%（前年度89.0%）、保護者平均は73.9%（前年度79.7%）、地域平均は86.9%であった。生徒は、「私は、先生が指導した学校での過ごし方やルールについて理解できる。」の質問で、肯定的な回答は90%以上であった。生徒たちは、日々落ち着いた学校生活を送っている。

3 学校行事について

生徒3項目、保護者3項目、地域2項目において、肯定的な回答は、生徒平均89.4（前年度91.9%）、保護者平均87.0%（前年度88.7%）、地域平均78.3%（前年度93.2%）であった。特に、生徒の「学校行事は楽しい。」の質問で「とても思う」と回答した1年は56%、2年は57%、3年は75%であった。3年生にとって、運動会、合唱コンクール、修学旅行は達成感もあり、思い出に残ったことが伺える。

4 キャリア教育について

生徒4項目、保護者3項目において、肯定的な回答は、生徒平均69.2%（前年度75.0%）、保護者平均61.3%（前年度63.7%）であった。生徒の評価は大きく下回った。特に、生徒の「キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。」の質問で、肯定的な回答が少なかった。生徒たちにはキャリア・パスポートを活用して、目標達成のプロセスを意識させたい。

5 教職員について

生徒2項目、保護者2項目において、肯定的な回答は、生徒平均84.6%、保護者平均72.9%であった。生徒、保護者共に「先生たちは、生徒たちにていねいに指導をしている。」の質問では、肯定的な回答が多かった。今後も、学校公開などを通して、保護者の理解を深めたい。

6 全般について

生徒6項目、保護者6項目において、肯定的な回答は、生徒平均70.3%、保護者平均72.9%であった。生徒は「学校生活は、楽しい。」、保護者は「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。」の質問で、肯定的な回答が多かった。生徒は「学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。」の質問で、肯定的な回答が少なく、課題である。

7 部活動について

生徒2項目、保護者2項目において、肯定的な回答は、生徒平均63.5%（前年度72.8%）、保護者70.0%（前年度70.0%）であった。生徒の入部している割合が約75%で、加入している生徒では84.7%である。今後も、生徒が主体的に取り組み、達成感を感じられる活動を推進する。

8 学校からの情報提供について

保護者4項目、地域4項目において、肯定的な回答は、保護者平均73.4%（前年度80.8%）、地域平均78.3%（前年度84.1%）であった。保護者は「本校は、様々な便りなど、保護者に提供をしている。」の質問で、肯定的な回答は85.2%であった。今後も、学校だより、ホームページの充実を図っていく。

9 学校運営について

保護者3項目、地域2項目において、肯定的な回答は、保護者平均69.5%、地域平均82.6%であった。保護者は「本校は、保護者に指導の重点を伝えている」の質問で、肯定回答が多かった。地域の「学校の重点目標が明確である。」「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。」の質問で、肯定回答が多かった。今後とも、保護者、地域に対して、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りたい。

10 家庭と学校との連携について

保護者3項目において、肯定的な回答は、保護者平均52.3%（前年度51.8%）であった。保護者の「私は、学校公開にすすんで参加している。」「私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。」の質問では、「あまり思わない。」と回答が多かった。今度とも、保護者に対して、学校公開や学校行事の参観を賜りたい。

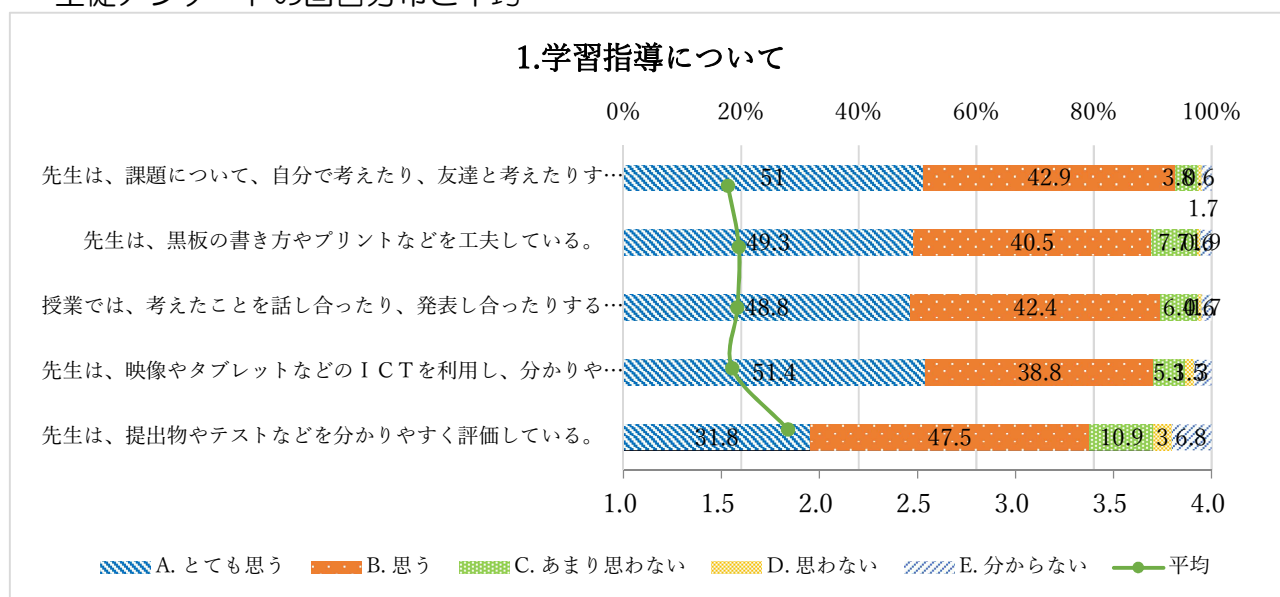
11 地域との連携について

保護者3項目、地域3項目において、肯定的な回答は、保護者平均71.6%（前年度72.1%）、地域平均76.8%（前年度77.3%）である。地域の「地域の人や施設を教育活動に活かしている。」の質問では、肯定的な回答が多かった。さらに、保護者・地域の方々との連携の活動を進めていく。

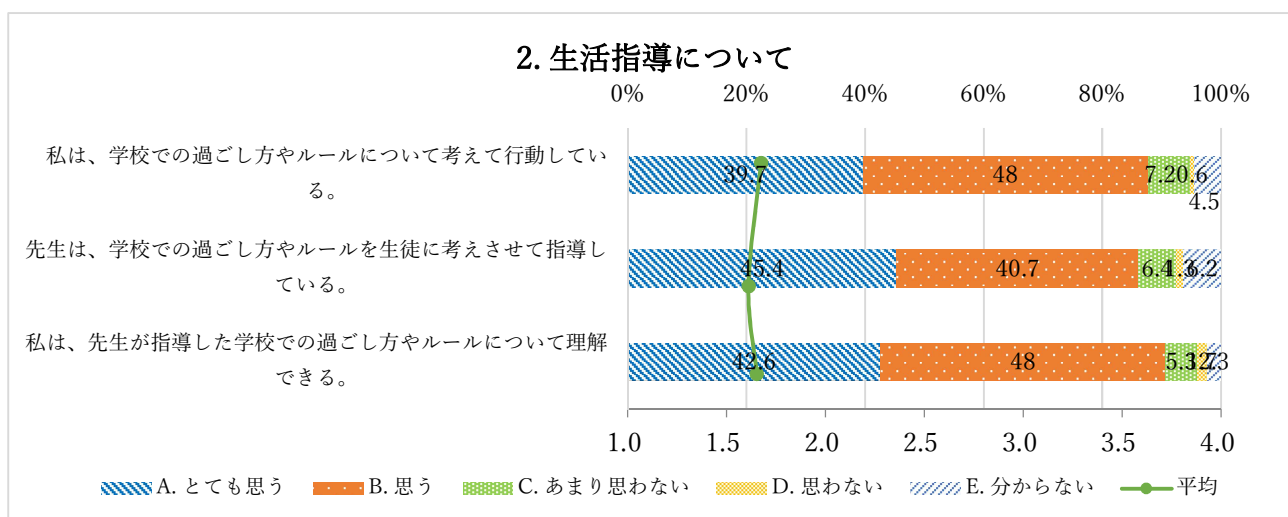
12 学校の安全性について

保護者3項目、地域2項目において、肯定的な回答は、保護者平均74.9%（前年度73.9%）、地域平均87.0%（前年度90.9%）である。保護者の回答では、「分からない。」の回答が多かった。地域と協力して、防災訓練などを行い、保護者への理解を深めたい。

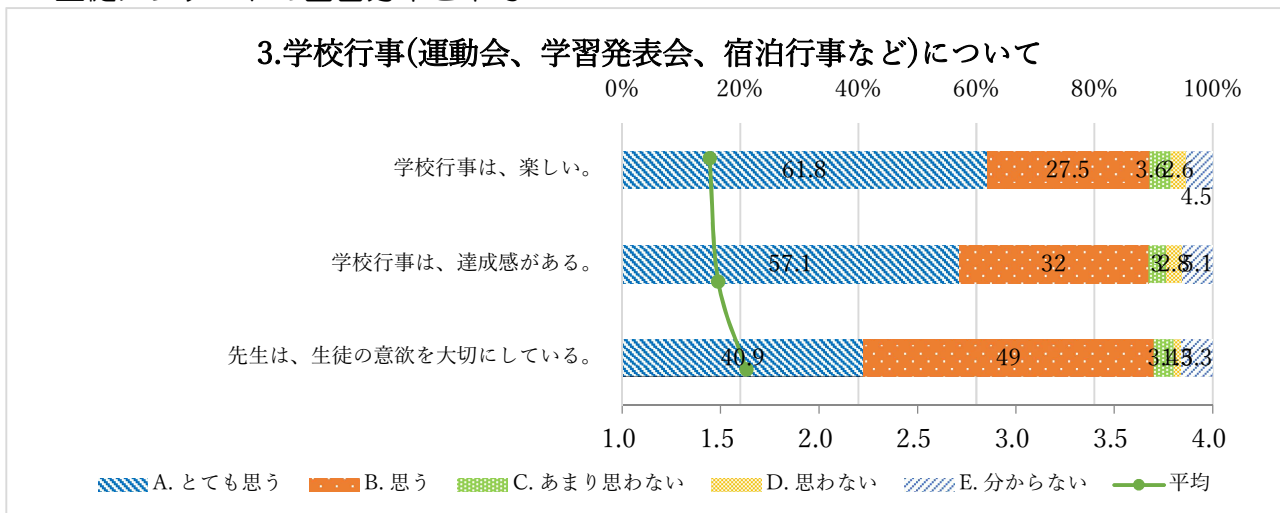
生徒アンケートの回答分布と平均



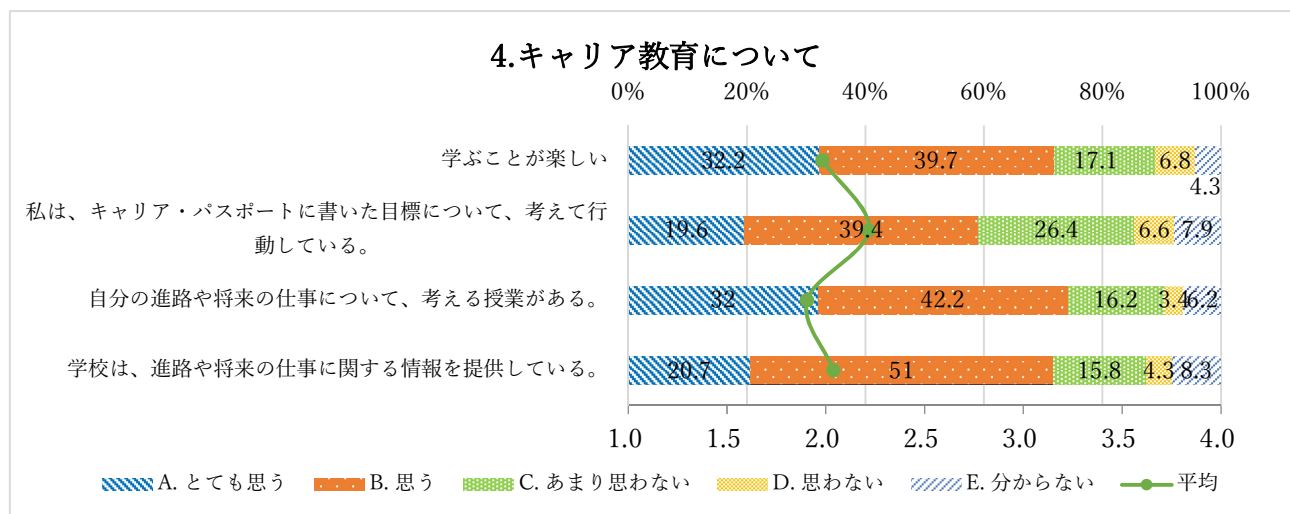
生徒アンケートの回答分布と平均



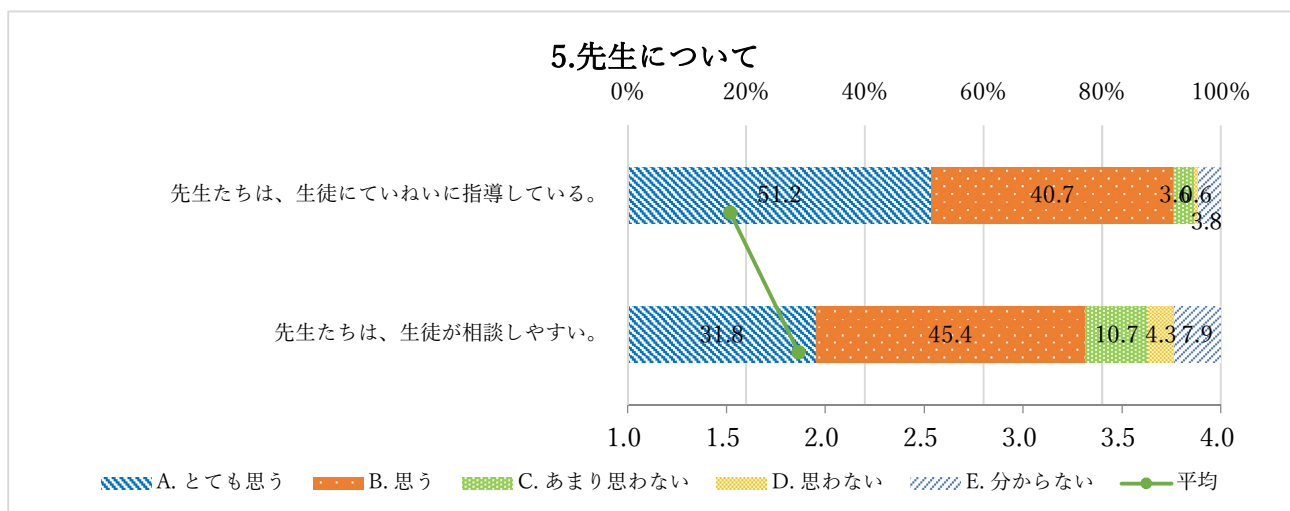
生徒アンケートの回答分布と平均



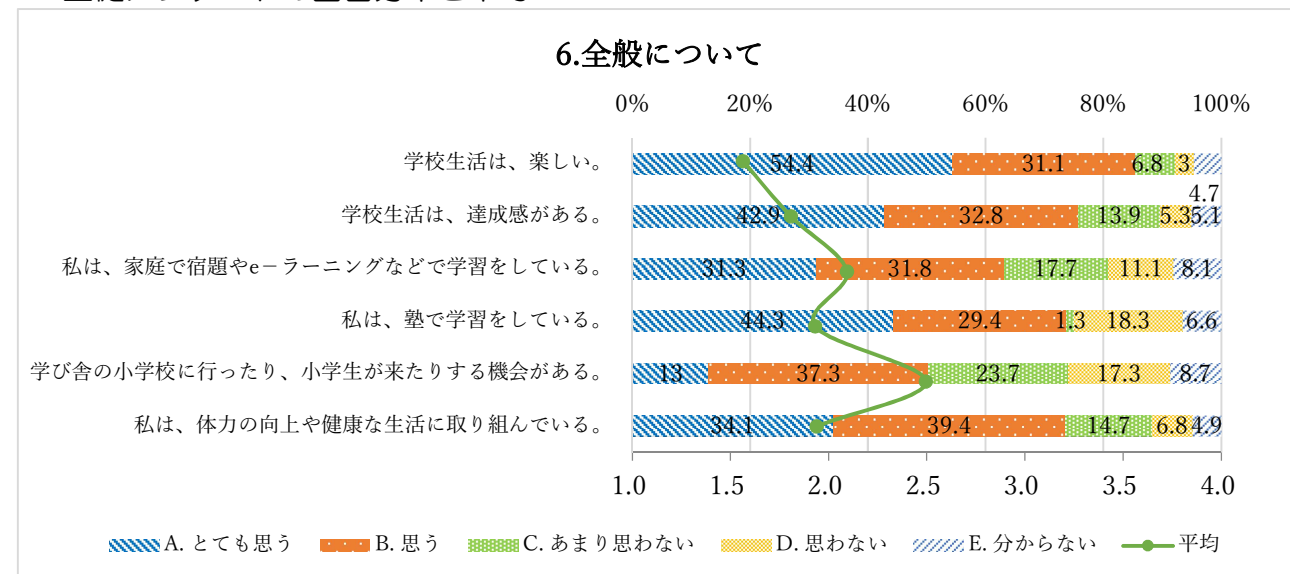
生徒アンケートの回答分布と平均



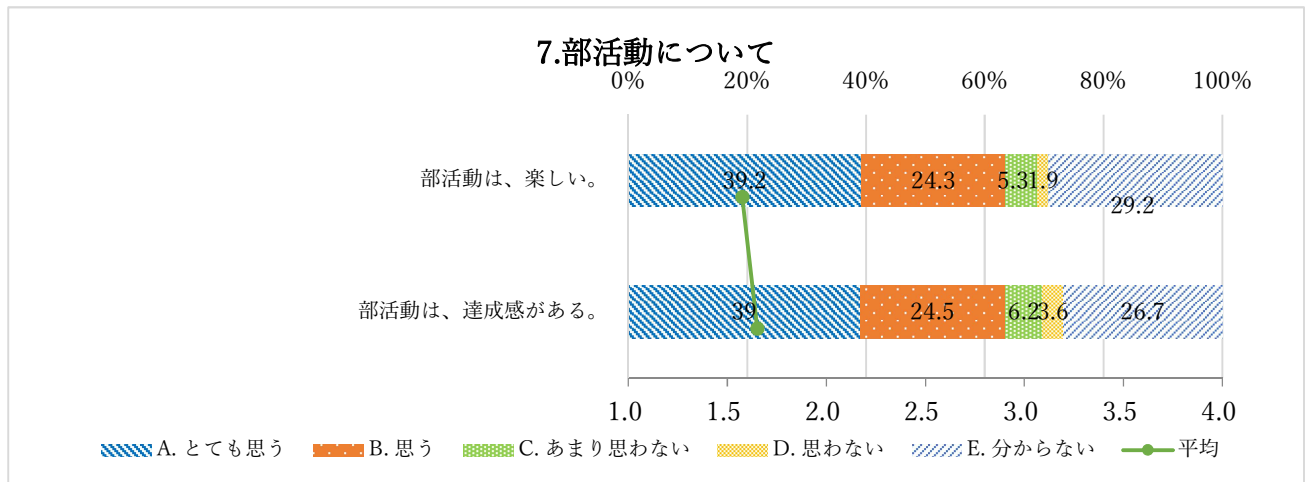
生徒アンケートの回答分布と平均



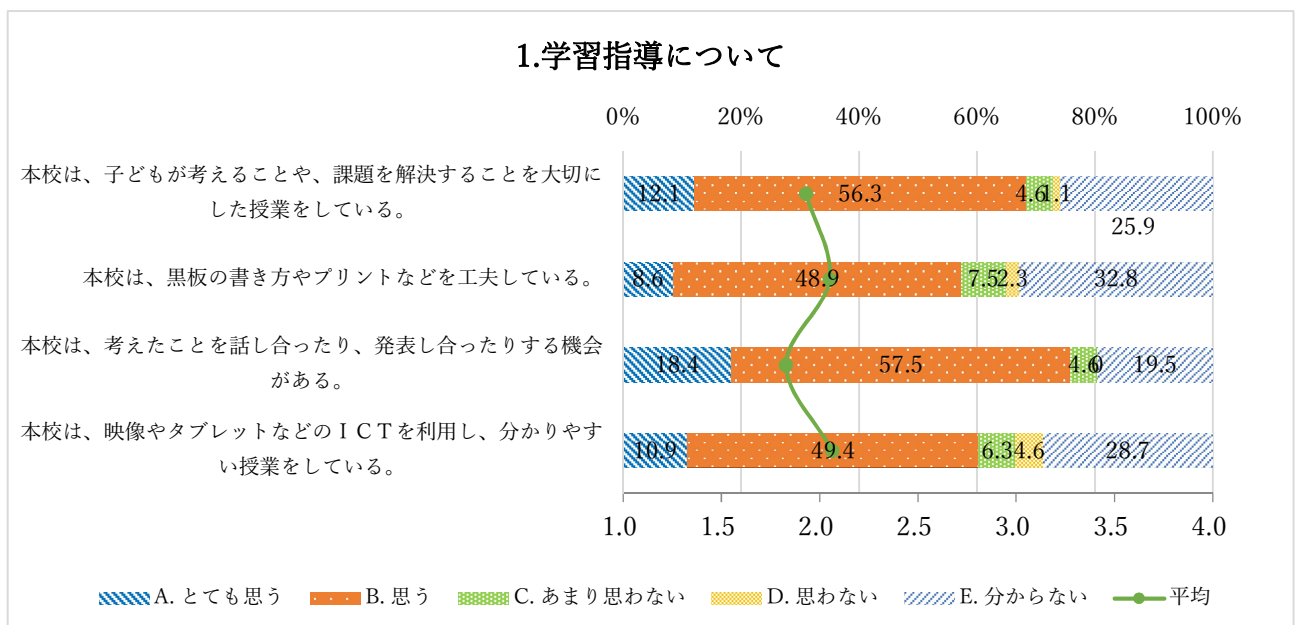
生徒アンケートの回答分布と平均



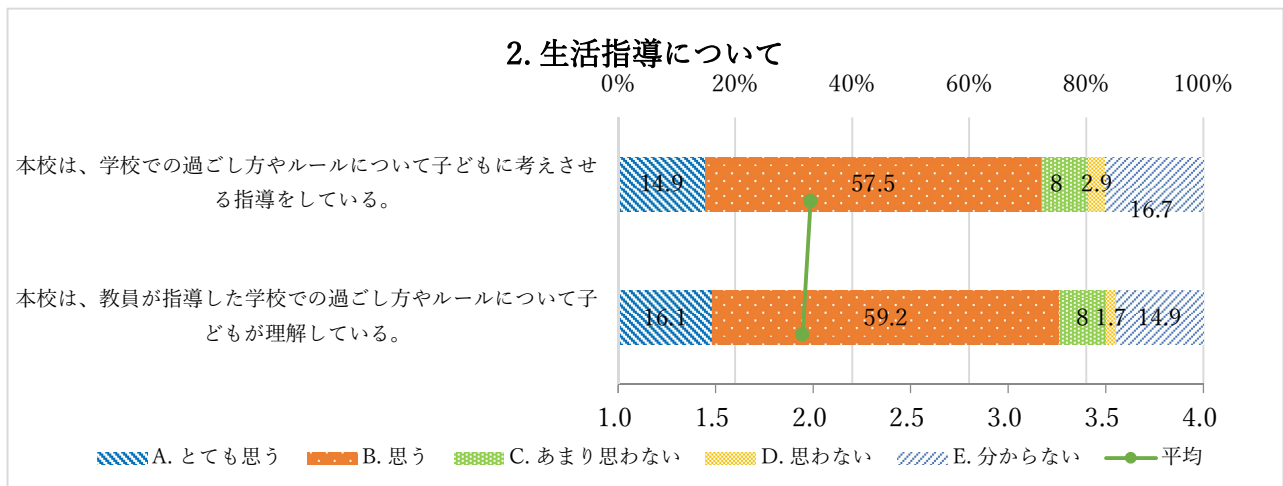
生徒アンケートの回答分布と平均



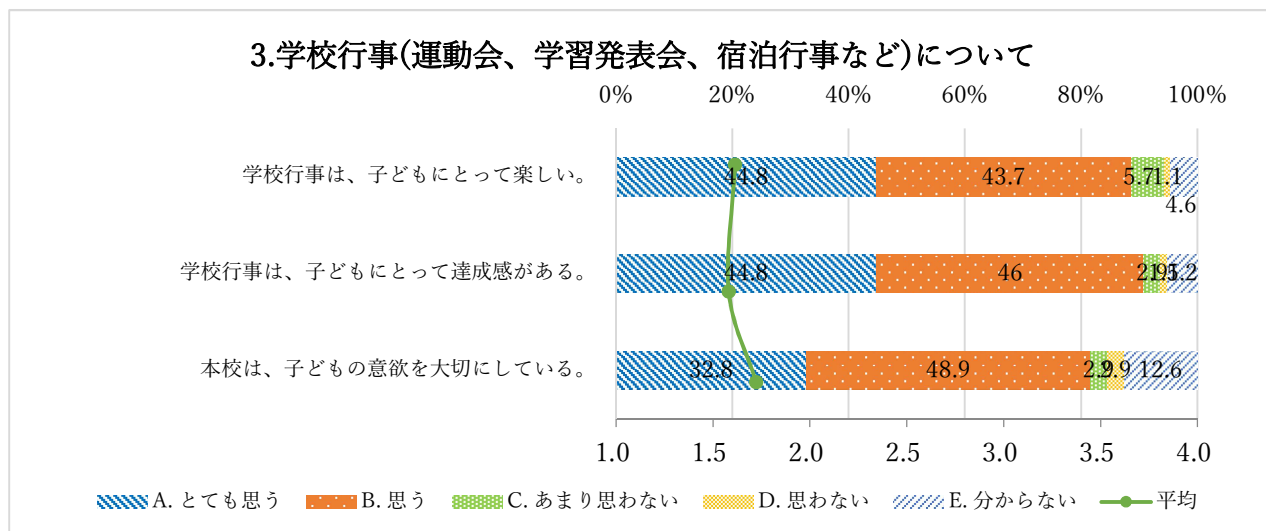
保護者アンケートの回答分布と平均



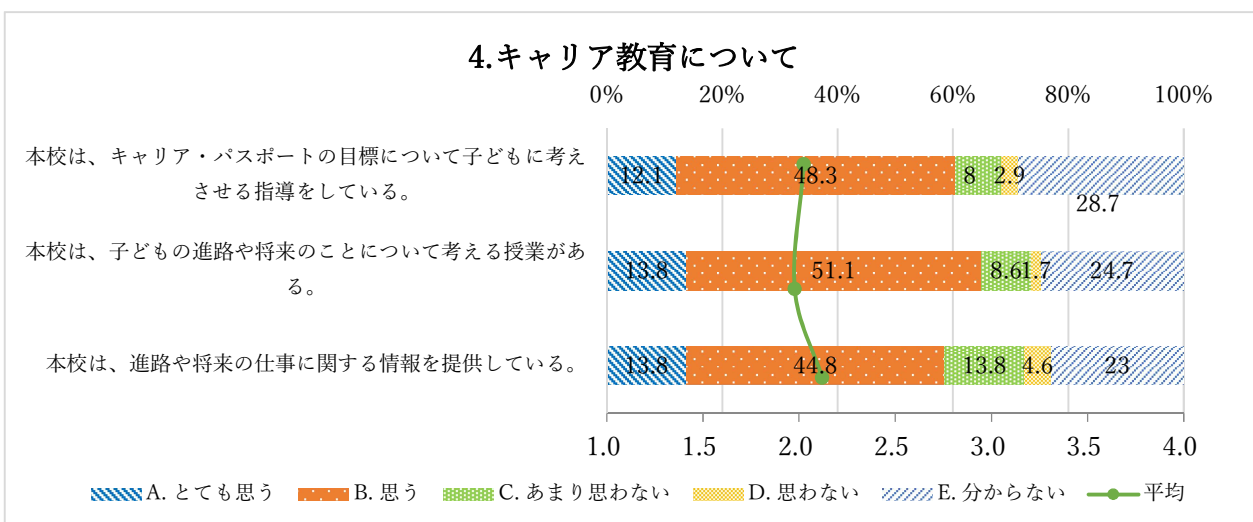
保護者アンケートの回答分布と平均



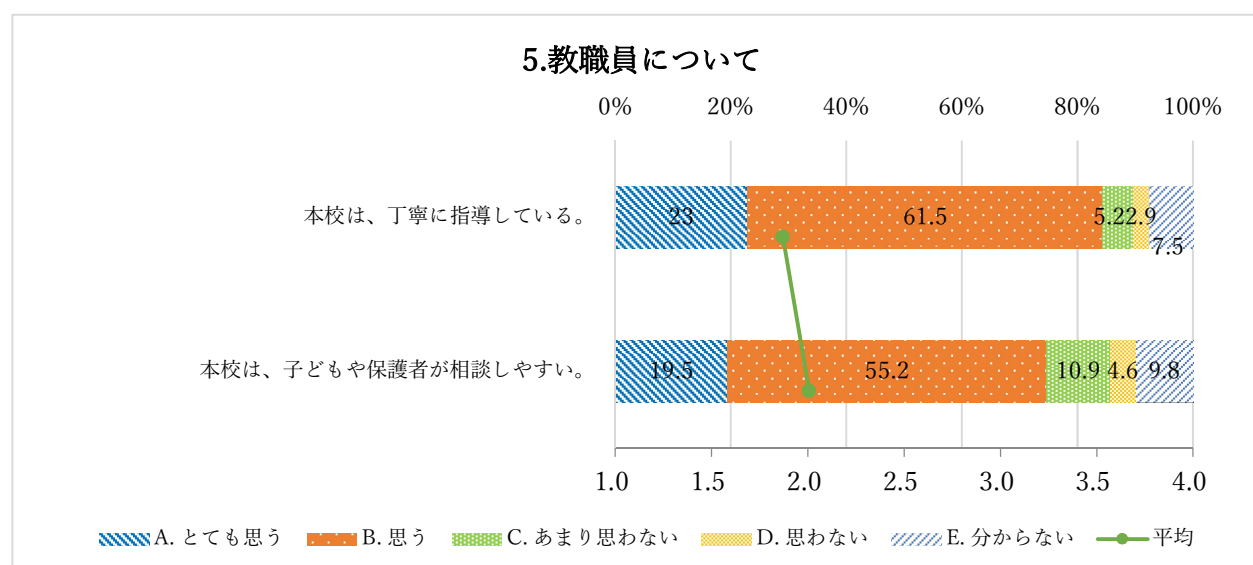
保護者アンケートの回答分布と平均



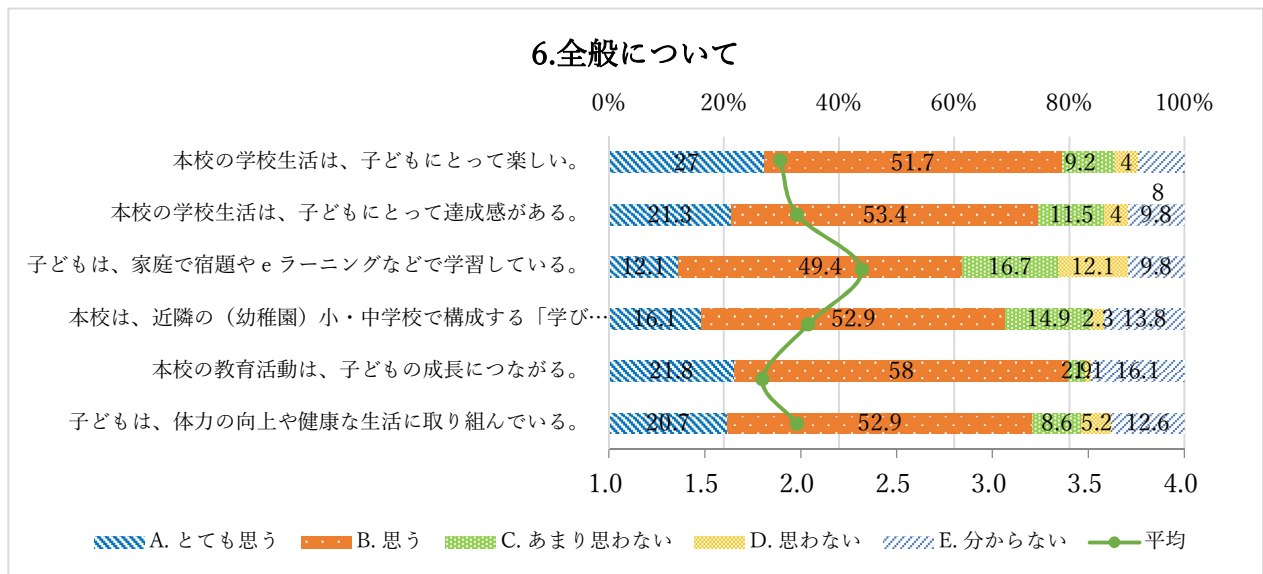
保護者アンケートの回答分布と平均



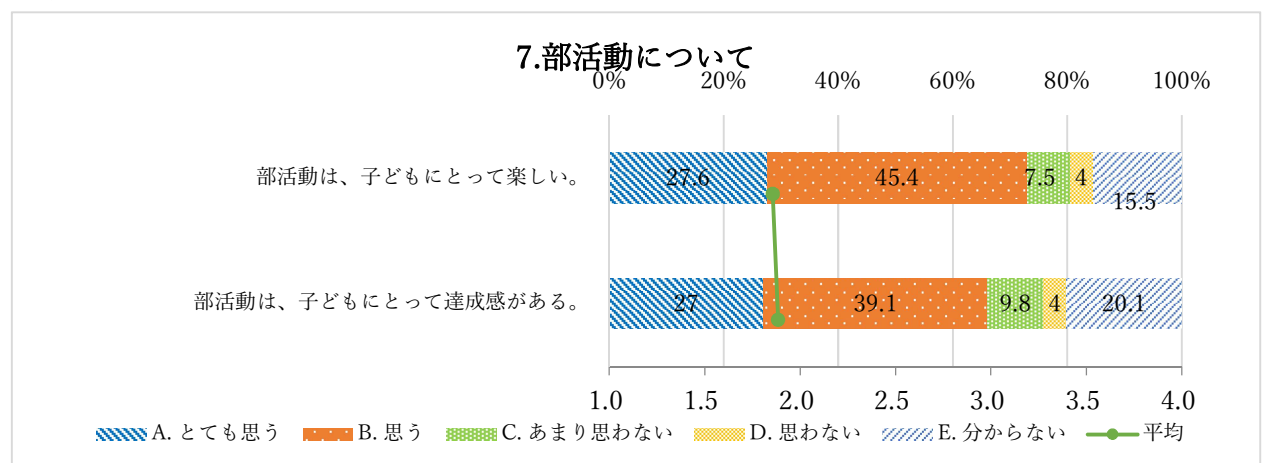
保護者アンケートの回答分布と平均



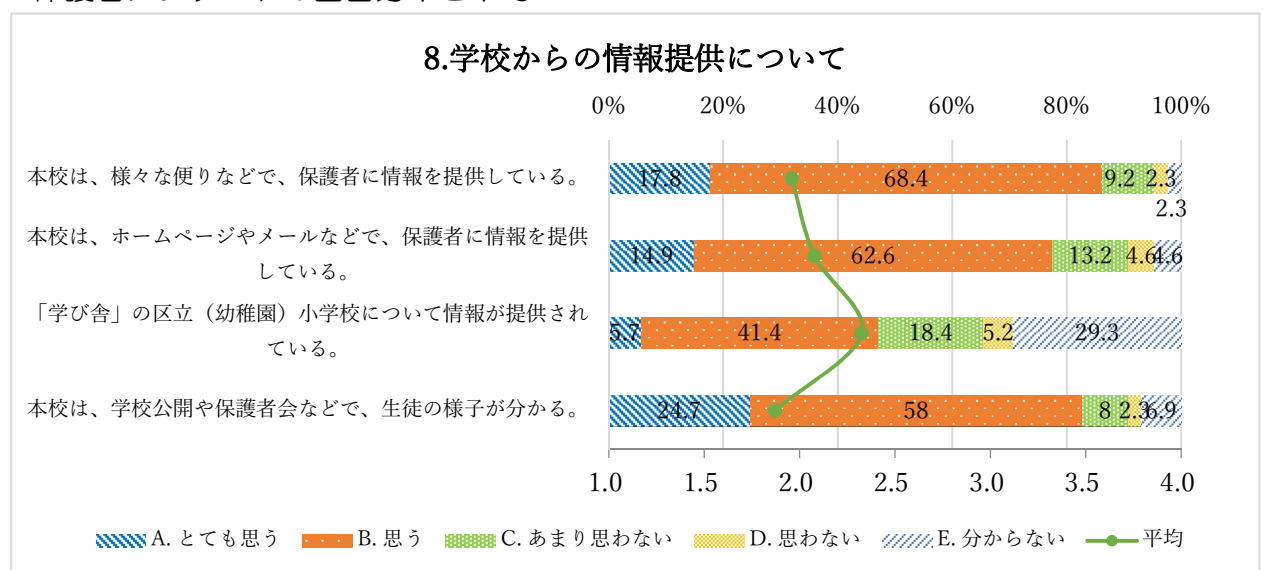
保護者アンケートの回答分布と平均



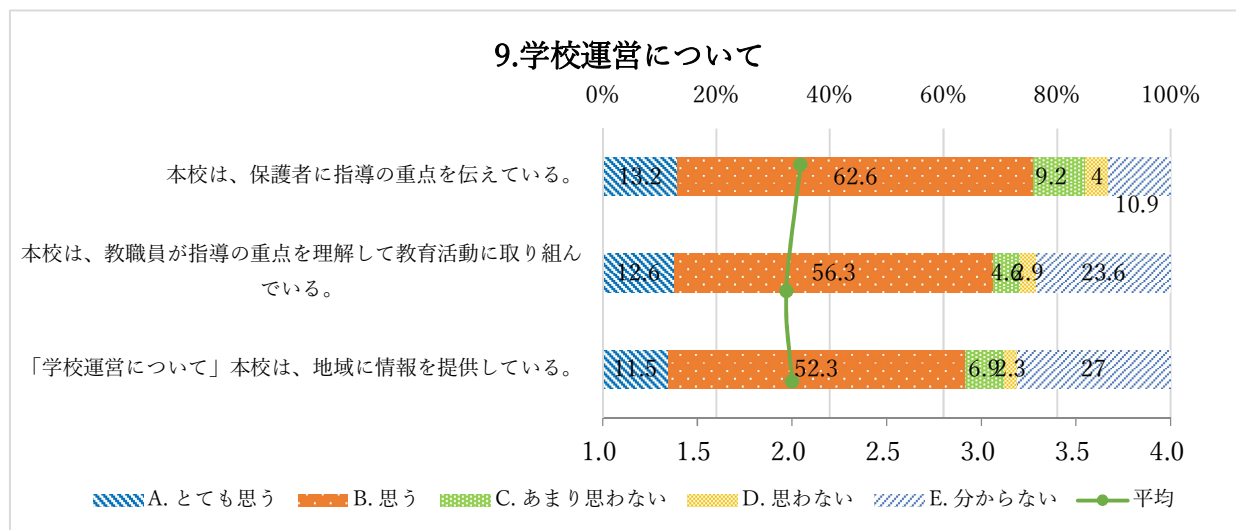
保護者アンケートの回答分布と平均



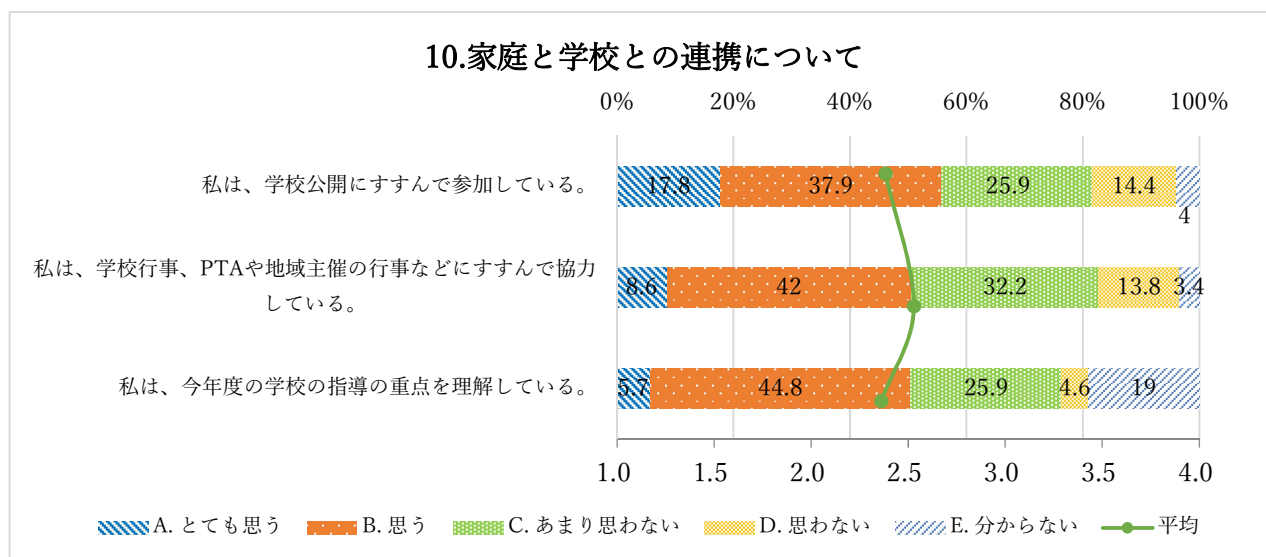
保護者アンケートの回答分布と平均



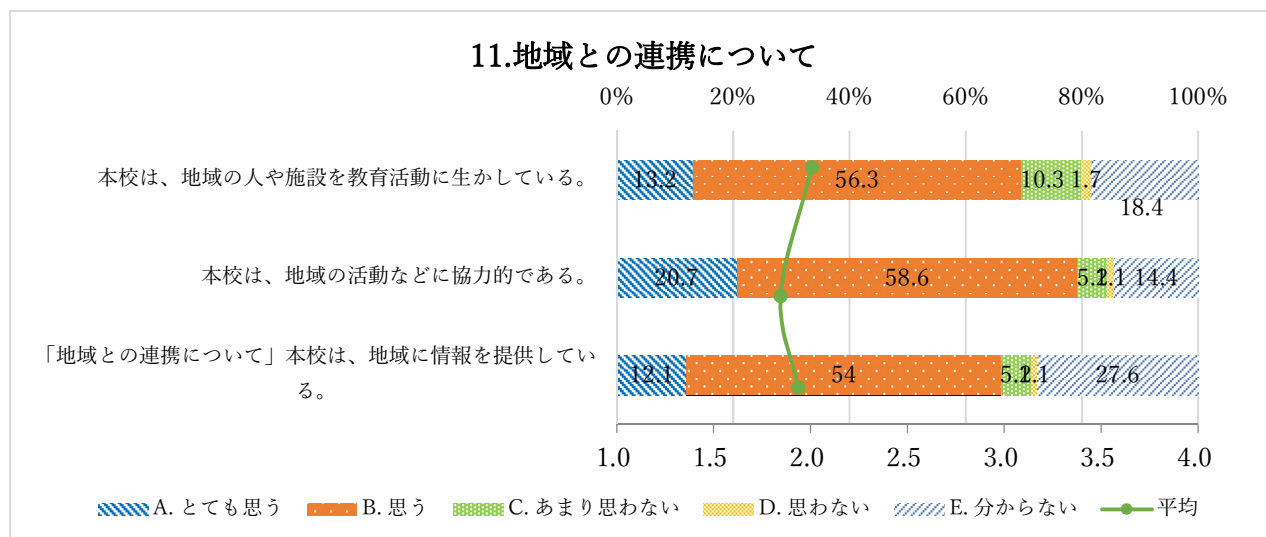
保護者アンケートの回答分布と平均



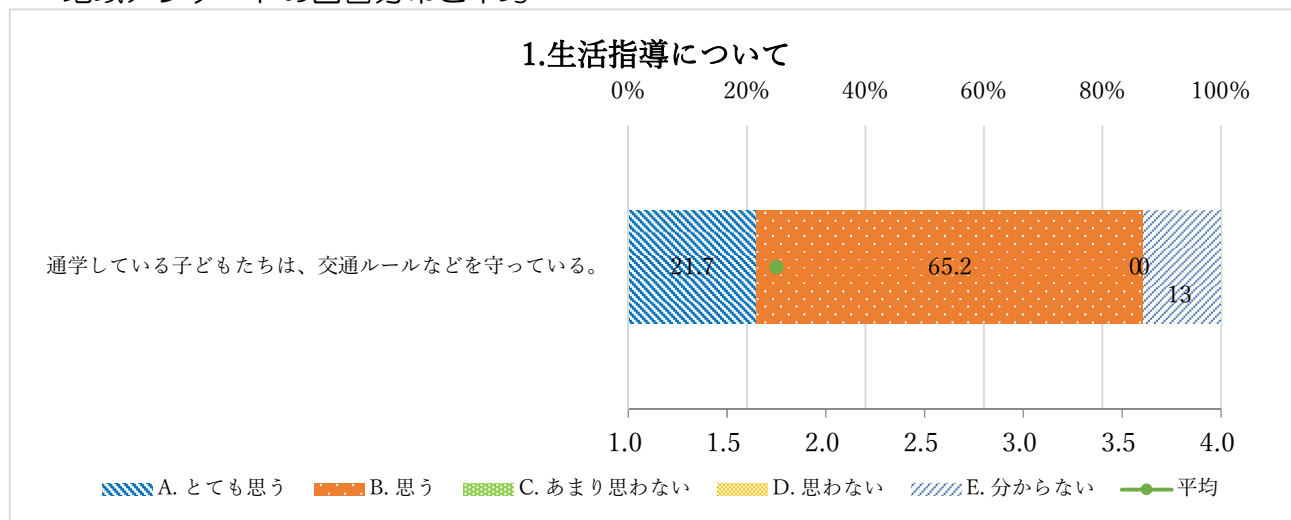
保護者アンケートの回答分布と平均



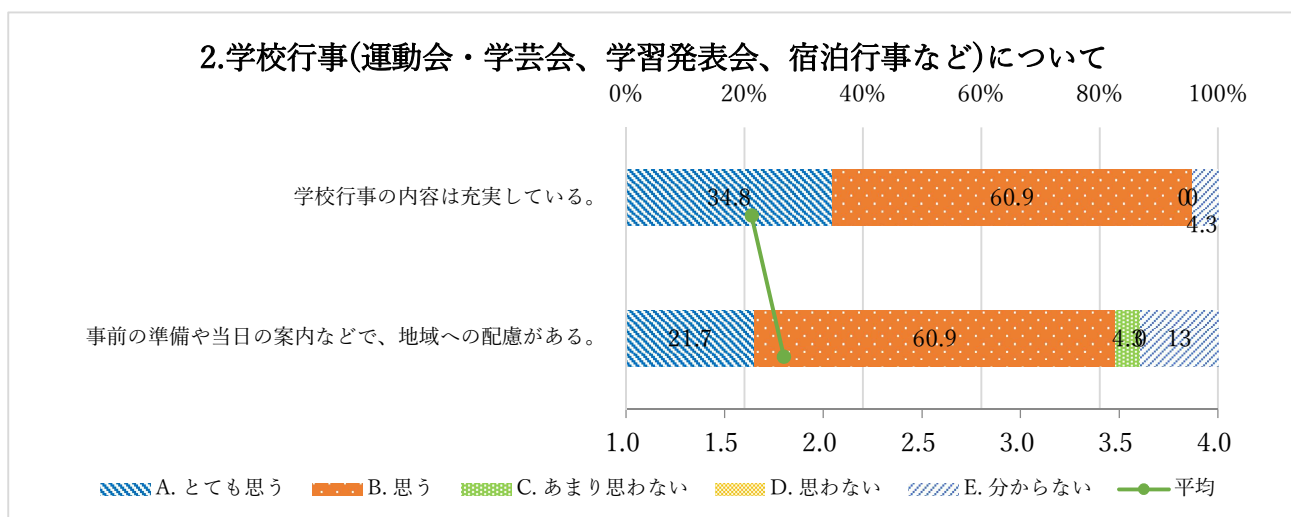
保護者アンケートの回答分布と平均



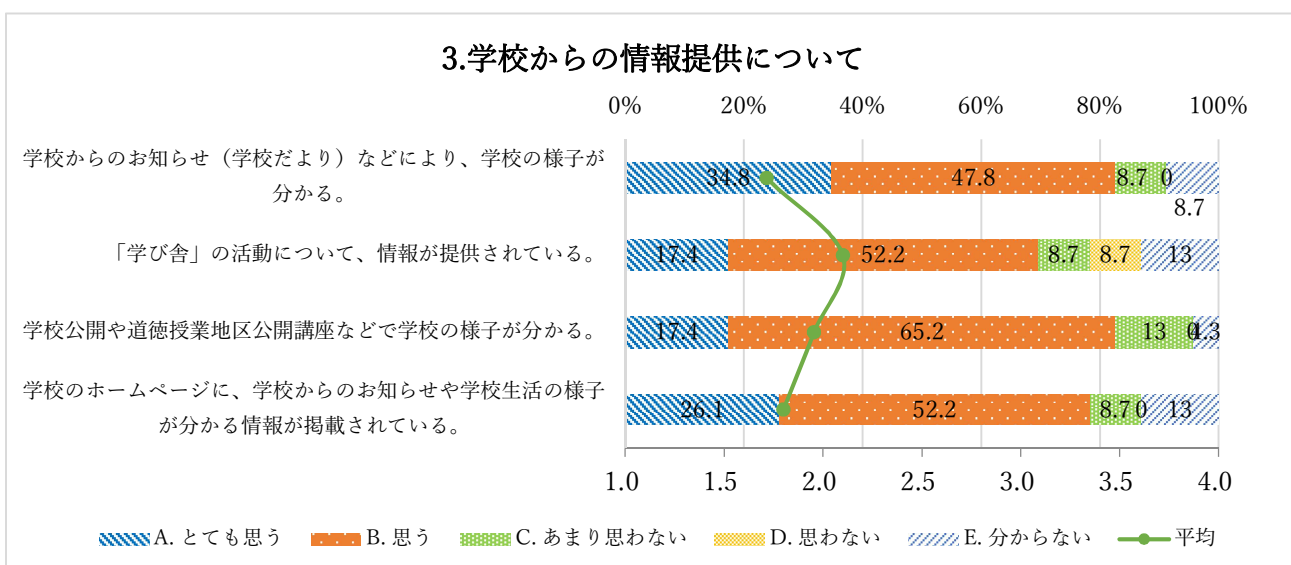
地域アンケートの回答分布と平均



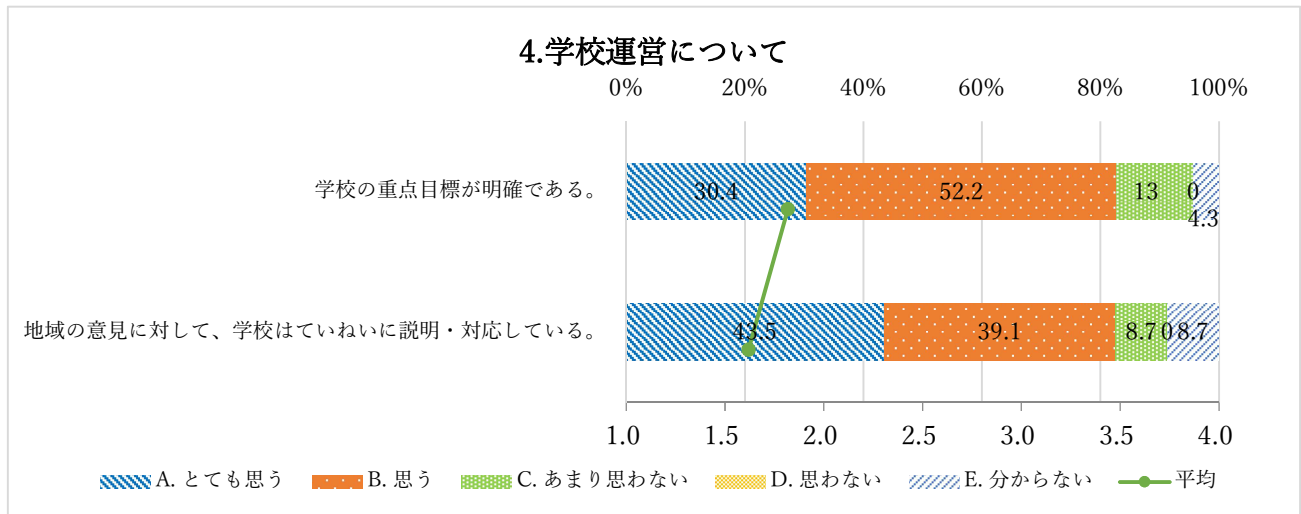
地域アンケートの回答分布と平均



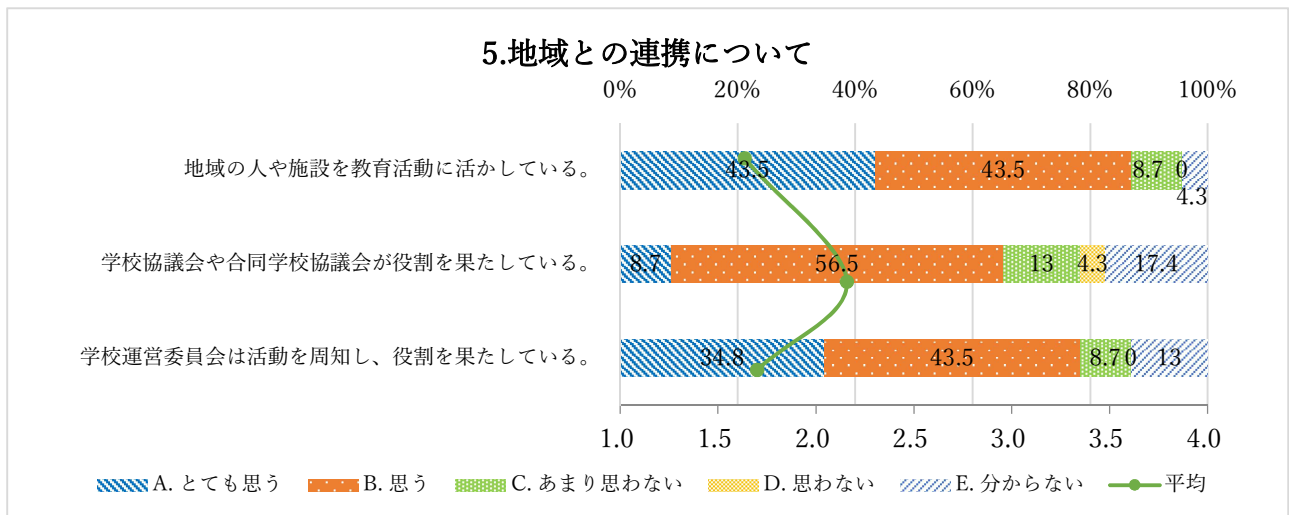
地域アンケートの回答分布と平均



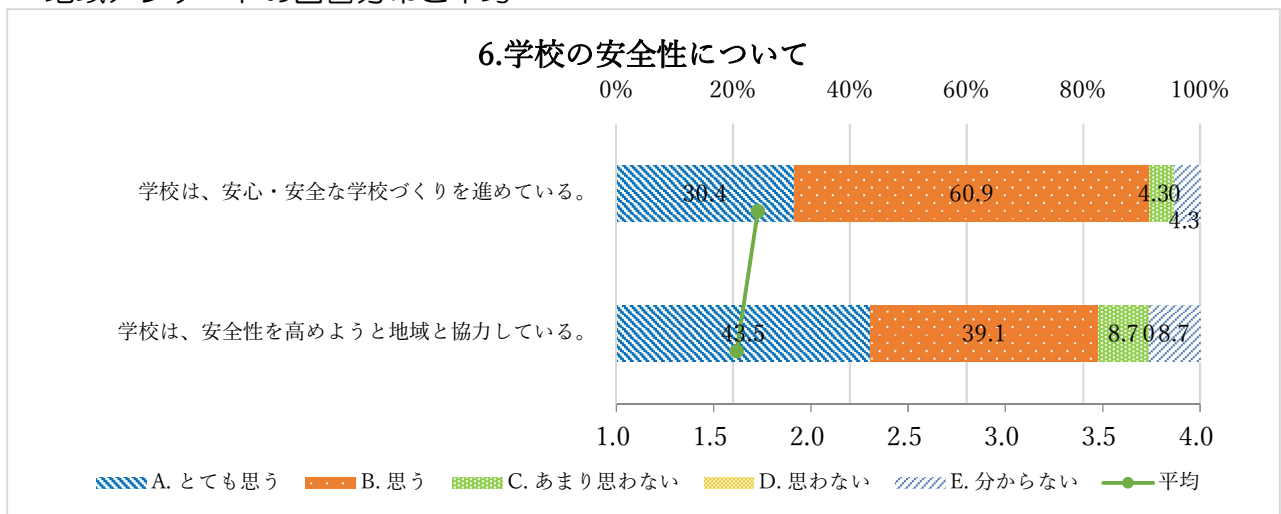
地域アンケートの回答分布と平均



地域アンケートの回答分布と平均

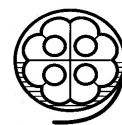


地域アンケートの回答分布と平均





令和7年度に向けての改善方策



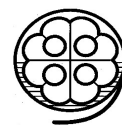
校長 山口 実史

本校学校関係者評価委員長、横須賀清美様より、令和6年度の学校関係者評価結果の報告と提言をいただきました。報告を踏まえ、令和7年度に向けての改善方策および目標を作成いたしました。

- 1 学習について
肯定的な回答が多い。次年度も、教材研究に励み、生徒の関心や意欲を高める工夫を行う。どの項目においても、肯定的な回答85%以上を目指す。
- 2 生活指導について
生徒たちは落ち着いており、肯定的な回答が多い。今後とも、規範意識や学校や社会のルールを守る意識を高める指導をしていく。どの項目においても、肯定的な回答85%以上を目指す。
- 3 学校行事について
学校行事を通して、成功体験や達成感を味わわせたい。どの項目においても、肯定的な回答90%以上を目指す。
- 4 キャリア教育について
三者面談でのキャリア・パスポートの活用、職場調べ、職場体験など、キャリア教育を推進する。どの項目においても、肯定的な回答80%以上を目指す。
- 5 先生（教職員）について
教職員は、今後ともていねいな指導を心がけ、生徒や保護者から信頼される関係を築いていく。どの項目においても、肯定的な回答80%以上を目指す。
- 6 全般について
学校の様子、放課後の家庭学習、小中の連携、体力に関する質問となっている。小中の交流やボランティア活動を通して、多摩川の学び舎の活性化を図る。どの項目においても、肯定的な回答75%以上を目指す。
- 7 部活動について
部活動では、生徒が主体的に取り組み、達成感を感じられる活動を推進ように、来年度も、継続して指導をしていく。生徒の入部率に対して、肯定的な回答80%以上を目指す。
- 8 学校独自項目について
あいさつ、思いやり、読書等に関して質問を行う。どの項目も肯定的な回答80%以上を目指す。



「令和6年度に向けての改善方策」について実施した改善結果



校長 山口 実史

前年作成の「令和6年度に向けての改善方策」について、本年度の実施した結果を報告します。

1 学習について

学習や学校独自項目において、肯定的な回答が多い。次年度も、教材研究に励み、生徒の関心や意欲を高める工夫を行う。どの項目においても、肯定的な回答85%以上を目指す。

【改善結果】校内研修会において、「主体的・探究的な学びのある授業づくり」をテーマに取り組んだ。肯定的な回答は生徒平均 88.9%で、概ね満足のいく結果となった。

2 生活指導について

生徒たちは落ち着いており、肯定的な回答が多い。今後とも、規範意識や学校や社会のルールを守る意識を高める指導をしていく。どの項目においても、肯定的な回答85%以上を目指す。

【改善結果】企画委員会、生活指導部会、校内特別委員会を定期的に行い、生徒の情報交換や指導の内容について検討をした。肯定的な回答は、生徒平均 88.1%、保護者平均 73.9%であった。生徒に対しては目標を達成したが、保護者の回答では下回った。保護者に対しても、ていねいな説明が必要であった。

3 学校行事について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校行事も復活している。生徒たちも楽しみにしている。いろいろな学校行事を通して、成功体験や達成感を味わせたい。どの項目においても、肯定的な回答90%以上を目指す。

【改善結果】積極的に学校行事を実施することができた。その結果、肯定的な回答は、生徒平均 89.4%、保護者平均 87.0%、地域平均 89.1%で、目標を下回った。今後とも、成功体験や達成感を感じられる学校行事を実施していきたい。

4 キャリア教育について

キャリア・パスポートの活用に課題があった。キャリア・パスポートの様式を改定した。また、次年度から、三者面談等でキャリア・パスポートを活用して、キャリア教育を進めたい。どの項目においても、肯定的な回答80%以上を目指す。

【改善結果】三者面談等で、キャリア・パスポートを活用して生徒の振り返りができた。しかし、肯定的な回答は、生徒平均 69.2%、保護者平均 61.3%であった。キャリア・パスポート、職場調べ、職場体験などが、生徒へのキャリア教育と結びついていないと考えられる。この点を意識して指導をしていきたい。

5 先生（教職員）について

「ていねいに指導している。」で肯定的な回答は93.1%であった。次年度も、90%以上を目指す。「生徒が相談しやすい。」では肯定的な回答が低かった。教員から声やふれあい週間を活用して相談活動を図り、次年度では肯定的な回答85%以上を目指す。

【改善結果】生活指導や教育相談では、ていねいな対応を心がけてきた。生徒質問の「先生たちは、生徒にていねいに指導をしている。」の肯定的な回答は91.9%で概ね満足のいく結果となった。生徒質問の「先生たちは、生徒が相談しやすい。」の肯定的な回答は77.2%で、目標を達成することはできなかった。校内研修会で研修をしたい。

6 全般について

学校の様子、放課後の家庭学習、小中の連携、体力に関する質問となっている。特に小中の連携では、肯定的な回答が51.9%で課題となった。小中の交流やボランティア活動を通して、多摩川の学び舎を意識させる。「学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。」で肯定回答75%以上を目指す。

【改善結果】生徒質問の「学校生活は、楽しい。」は85.5%であった。「学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。」では、肯定的な回答は50.6%であった。小中連携を踏まえて、学び舎の活動を改善していく。

7 部活動について

今年度の部活動加入率は73%で、ほとんどの生徒が「楽しい。」「達成感がある。」の質問に肯定的な回答をしている。来年度も、継続して指導をしていく。

【改善結果】教職員の協力もあり、9つの部活動を開設できた。肯定的な回答は、生徒平均が63.5%であるが、入部している生徒の割合から考えると満足のいく結果である。

8 学校独自項目

あいさつ、思いやり、学習、読書に関する質問で、読書以外は肯定的な回答が多かった。「本を読んでいる。」で肯定回答が69.6%であった。朝読書や言語活動を通して、読書の良さを意識させる。「本を読んでいる。」で肯定的な回答80%以上を目指す。

【改善結果】校舎内では、生徒たちは自主的にあいさつをしている。また、来校者にもあいさつをしている。朝読書や図書館の活用で、生徒の読書量は増えた。今後、あいさつや読書活動を推奨していきたい。